

TOP > CRNについて > CRN活動履歴

いいね! 0

ポスト

Bl



CRNについて

About CRN

CRN活動履歴

掲載日: 2010年9月1日掲載

チャイルド・リサーチ・ネットは1996年に設立しました。

1996年度

- ・シンポジウム「マルチメディア社会の子どもたち」(7月)
- ・日英二カ国語ウェブサイトオープン

1997年度

- ・ジェイ・ベルスキー博士講演会(10月)
- ・ジェーン・グドール博士講演会(10月)
- ・シンポジウム「中高生のデジタルな友達づくり」(3月)

1998年度

- ・CRNウェブサイト「WEBデザインアワード」銀賞受賞(12月)
- ・ジェーン・グドール博士講演会(10月)
- ・国際シンポジウム「メディアは子どもをどう育てるのか?」(1月)

1999年度

- ・プレイショップ「PLAYFUL」(11月)
- ・公開座談会「学級崩壊はしついでくいとめられるのか?」(1月)

2000年度

- ・『子育てのスタイルは発達にどう影響するのか』発刊(12月)
- ・ワールドユースミーティングに協力(7月)
- ・国際シンポジウム「21世紀の子育てを考える」(7月)
- ・プレイショップ「Feel the Media」(7月)
- ・『チャイルド・リサーチ・ネット』発刊(3月)
- ・公開座談会「『学校』と『家庭』を結ぶもの」(1月)

2001年度

- ・音のワークショップ(12月)
- ・『新しい学びと遊びの実験研究「ながやまチーきち」』発刊(11月)
- ・チーきちオープンデー(8月)
- ・研究拠点「ながやまチーきち」開設(4月～)
- ・『CRN YEAR BOOK 2001』発刊(3月)
- ・プレイショップ「雪が届けるメッセージ」(3月)、「生き物つながり」(6月)、「星に願いを」(7月)、「セミの冒険」(8月)、「ふゆものがたり～プレイフルストーリーをつ

キーワード検索

Google 提供



インクルーシブ教育



社会情動的スキル



遊び



メディア



発達障害とは?



タイプ・年齢別の症状と対応

新着記事

- ➡ 【誰一人取り残さない「こどもみんなな社会」の実現を目指す「こども家庭庁」】 その11:若い世代の描くライフデザインや出会いを考えるワーキンググループ
- ➡ 【ニュージーランド子育て・教育便り】 第51回 天候被害に関する子どもの準備・事後のサポート
- ➡ 【カナダBC州の子育てレポート】 第37回 フルインクルーシブ教育: 自立と自律を中心に考える

くろう」(12月)

2002年度

- ・メディアワークショップ(主催:CRN子どもとメディア研究室)チーきち放送局をつくろう(7月)
- ・研究拠点「ながやまチーきち」開設(4月～)
- ・「子ども学研究会」発足(4月～)
- ・日本発達心理学会ポスターセッション参加(3月)
- ・『CRN YEAR BOOK 2002』発刊(3月)
- ・プレイショッ「チーきち子どもスタジオ～映画を作ろう」(3月)、「カラフル王国で遊ぼう」(10月)
- ・音のワークショップ(1、2、3、6、7、9、10、11月)
- ・CRN 実践保育研修会「保育の質を考える一心とからだを育む視点から」(1月)

2003年度

- ・「こがねいメディアキッズ」(12月)
- ・「チーきちメディアキッズ」ホームページづくり(7、8月)
- ・音のワークショップ(7月)
- ・「日本子ども学会」設立(11月～)
- ・CRN子ども学研究会(6月、7月)
- ・『子ども学研究会Report2002』発刊(3月)
- ・『CRN YEAR BOOK 2003』発刊(3月)
- ・日本教育工学会春合宿にて話題提供(3月)
- ・日本発達心理学会ラウンドテーブルにて話題提供(3月)
- ・「こどもサイエンストーク」遺伝編(1月)、進化編(10月)

2004年度

- ・中国の子ども研究機関を訪問(11月)
- ・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイ(9月)
- ・「第1回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)(9月)
- ・『CRN YEAR BOOK 2004』発刊(3月)
- ・「こがねいメディアキッズ」ホームページをつくろう(2、3、4月)
- ・「こがねいメディアキッズ」Flash Movieを体験しよう(2月)

2005年度

- ・中国 上海での国際フォーラムにて「子ども学」を講演(11月)
- ・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイ(9月)
- ・「第2回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)(9月) *中国から研究者2名を招聘
- ・英語ウェブサイトリニューアルオープン(6月)
- ・「100人のティーンズへのインタビュー」(4月～)
- ・中国の子ども研究機関を訪問(3月)
- ・『CRN YEAR BOOK 2005』発刊(3月) *日英中の3言語対応
- ・(2月)
- ・中国語ウェブサイトオープン(2月)

2006年度

- ・中国 上海政府主催のシンポジウムにて「子どもの生体リズム」をテーマに小林所長が講演(11月)
- ・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイ(9月)
- ・「第3回子ども学会議」(「日本子ども学会」学術集会)(9月)
- ・中国 長春の子どもの健康に関する学会にて「食育」をテーマに分科会を開催(7月)
- ・『CRN YEAR BOOK 2006』発刊(3月) *日英中の3言語対応

- ➡ [【誰一人取り残さない「こどもまんなか社会」の実現を目指す「こども家庭庁」】その10 政策に関する国と地方の協議の場～こども政策の最前線は自治体～](#)
- ➡ [【ドイツの子育て・教育事情～ベルリンの場合】第62回 子どもの健康診査～日独比較](#)
- ➡ [【一人一人の違いに寄り添うために】第12回 知識は無限、順位は有限](#)
- ➡ [【インドの育児と教育レポート～チェンナイ編】第11回 インドの学校教育におけるスクールカウンセラーの役割](#)
- ➡ [【カナダBC州の子育てレポート】第36回 フルインクルージョン教育の理想と現実](#)
- ➡ [【誰一人取り残さない「こどもまんなか社会」の実現を目指す「こども家庭庁」】その9:「こどもまんなか」の視点で乳幼児の育ちを支える「こども誰でも通園制度」について](#)
- ➡ [【CRNA国際共同研究】子どものレジリエンスを育む保育実践に関する調査2024 結果報告](#)



Tweets by crn_jp

ご意見・ご質問

CRNへのご意見・ご質問はこちらへお寄せください。

[ご意見・ご質問はこちら](#)

2007年度

- ・中国 上海にて 第1回 東アジア子ども学交流プログラム開幕式（11月）
- ・中国 長沙にて 第1回 東アジア子ども学交流プログラム 集中講義・幼児教育展覧会 開催（11月）
- ・「第4回子ども学会議」（「日本子ども学会」学術集会）（9月）
- ・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイ（9月）
- ・『CRN 設立10周年記念国際シンポジウム報告書』発刊（9月）
- ・CRN設立10周年記念国際シンポジウム開催（2月）
- ・『CRN 設立10周年記念号』発刊（2月）*日英中の3言語対応

2008年度

- ・中国 杭州 第3回 東アジア子ども学交流プログラム集中講義・幼児教育展覧会 開催（11月）
- ・「第5回子ども学会議」（「日本子ども学会」学術集会）（9月）
- ・『CRNニュースレター vol. 1』創刊（7月）*日英中の3言語対応
- ・日本・東京にて 第2回 東アジア子ども学交流プログラム開催（4月）
- ・日本語サイトリニューアルオープン（4月）

2009年度

- ・中国・上海にて第5回 東アジア子ども学交流プログラム開催（11月）
- ・日本・東京にて第4回 東アジア子ども学交流プログラム開催（9月）
- ・東アジア子ども学交流活動報告書VOL1 発刊（3月）*日英中の3言語対応
- ・『CRNニュースレター vol. 2』発刊（2月）*日英中の3言語対応

2010年度

- ・『CRNニュースレター vol. 4』発刊
- ・日本語サイトリニューアルオープン（9月）
- ・環太平洋乳幼児教育学会PECERA（Pacific Early Childhood Education Research Association）主催の第11回学術集会に出席、所長小林登講演（7月）
- ・所長小林登が韓国晋州教育大学にて招へい講演（5月）
- ・『東アジア子ども学交流活動報告書VOL2』発刊（3月）*日英中の3言語対応
- ・『CRNニュースレター vol. 3』発刊（2月）*日英中韓の4言語対応

2011年度

- ・『CRN ニュースレター vol. 5』発刊 *日中英3言語対応
- ・『東アジア子ども学交流活動報告書 vol. 3』発刊 *日中英3言語対応
- ・『CRN ニュースレター vol. 6』発刊 *日中英3言語対応
- ・「第8回子ども学会議」（「日本子ども学会」学術集会）
- ・第7回 東アジア子ども学交流プログラム・グッド・トイ展示会開催〔中国 鄭州〕

2012年度

- ・英語サイトリニューアルオープン
- ・中国語（簡体字）サイトリニューアルオープン
- ・中国語（繁体字）サイトオープン
- ・第8回 東アジア子ども学交流プログラム（台北）
- ・第1回、第2回「放射線と子ども」研究会開催

2013年度

- ・第3回ECEC研究会「遊びの質を高める保育のあり方」
- ・第2回ECEC研究会「遊びと学びの子ども学～Playful Pedagogy～」
- ・第1回ECEC研究会「日本の保育の課題と展望」
- ・榊原洋一が所長に就任、前所長の小林登は名誉所長に

メルマガ登録 [PAGE TOP](#)

メールマガジン「CRN通信」を購入しませんか？子どもにまつわる耳よりな情報をお届けします。

[登録・変更はこちら](#)

2014年度

- ・第4回ECEC研究会「世界の保育と日本の保育～遊びの中に学びを探る～」
- ・第10回東アジア子ども学交流プログラム「遊びから学びへ～脳科学の視点から～」
- ・ドゥーラ座談会「子産み・子育てしやすい社会へ～ドゥーラ的な発想を軸に考える～」

2015年度

- ・第5回ECEC研究会「世界の保育と日本の保育②～4カ国との比較から日本の保育の良さを探る～」

2016年度

- ・「CRNアジア子ども学研究ネットワーク（CRNA）」発足
- ・CRNA第1回国際会議「Child Caring Design～子どもの発達・成育環境のグランド・デザイン～」（上海）
- ・[CRN設立20周年記念リーフレット](#)制作
- ・[CRN設立20周年記念特集ページ](#)を開設

2017年度

- ・CRNA第2回国際会議「社会情動的スキルをどう育むか～メディア、遊び、特別支援の観点から考える～」（東京）
- ・『ECEC研究報告書』、『各国・地域のECECのマトリクス』発刊

2018年度

- ・ネットシンポジウム「何か変だよ、日本の特別支援教育」
- ・日本語サイトリニューアル

2019年度

- ・オンラインシンポジウム「子どもとメディア～幼児教育における研究・実践の最前線～」
- ・CRNA第3回国際会議「子どものウェル・ビーイングのための教育と子育て」（ジャカルタ）

2020年度

- ・オンラインシンポジウム「遊びを止めない！～ウィズコロナ時代の子どもとメディア～」
- ・『[各国・地域のECECのマトリクス2020](#)』改訂版発刊
- ・英語サイトリニューアル
- ・中国語サイトリニューアル

2021年度

- ・「子どもの生活に関するアジア8か国調査2021」実施
- ・「子どもの生活に関するアジア8か国調査2021」に基づく全体速報レポート、カントリー・レポートの発信

2022年度

- ・「子どもの生活に関するアジア8か国調査2021」のプレスリリース「コロナ禍での子どものウェルビーイングには"レジリエンス"の育成が重要」
- ・「子どもの生活に関するアジア8か国調査2021」の「[調査結果報告](#)」発刊
- ・日本発達心理学会第34回大会、自主シンポジウム「アジア8か国の子どものレジリエンスとウェルビーイングに関連する因子の探究」

2023年度

- ・「子どもの生活に関するアジア8か国調査2021」の分析結果に基づく論文が国際学会誌（PECERAジャーナル特集号）に掲載
- ・「子どものレジリエンスを育む保育実践に関する調査2024」実施

- ・日本語サイトに発達障害特設ページを開設
- ・オンライン公開セミナー「子どもの発達障害～保育や教育の現場での対応について考える～」実施

PAGE TOP

2024年度

- ・「子どものレジリエンスを育む保育実践に関する調査2024」に基づくカントリー・レポートの発信
- ・PEGERA Annual Conference 2024 Tokyo 各国理事およびCRNA事務局より「子どものレジリエンスを育む保育実践に関する調査2024」に基づくポスター／口頭発表
- ・「子どものレジリエンスを育む保育実践に関する調査2024」の「[調査結果報告](#)」発刊

2025年度

- ・6月30日 中国語サイト閉鎖
- ・9月30日 日本語・英語サイト閉鎖
CRN活動停止

調査データ	研究論文	海外の子育て	CRNについて
<ul style="list-style-type: none">▶ 乳幼児▶ 小中高生▶ 国際調査 <p>▶ More</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ 異文化理解▶ 健康と発達▶ 学校教育▶ 子どもの権利 <p>▶ More</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ インド▶ カナダ▶ タイ▶ ドイツ (ベルリン)▶ ニュージーランド▶ ノルウェー▶ フィンランド▶ サウジアラビア <p>▶ More</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ ごあいさつ▶ CRN概要▶ 活動履歴▶ CRN刊行物 <p>▶ More</p>

